

社会福祉法人 二葉保育園
児童養護施設 二葉学園

二葉だより

発信元

東京都調布市上石原2-17-7

児童養護施設 二葉学園

TEL 042-482-2578

FAX 042-480-5200

一月下旬からの新型コロナウイルス感染症拡大に影響される一年でした。学校の臨時休業、緊急事態宣言の発令、学園内では本園やホームの行き来の制限、会議の中止（変更）、行事の中止等学園の生活や運営に大きな変化をもたらすことになりました。

その中において、園内は子ども、職員（その家族も含めて）感染者を出すことなく、これまで推移しています。子どもたちや職員の日頃の努力に感謝せずにはいられません。一方で、新たな取り組みの必要性に応じて生まれました。インターネット環境の普及・充実によるいわゆるリモートでの会議等の開催や一部ではありますが、親子のリモートでの面会なども実施され、通常ではない状況下において、それに代わる手立てを取りながらすすめています。

その中でも子どもたちは、がんばってくれています。特に受験等進路決定を抱える子どもたちは、高校受験に向かうものが四人、大学等進学二人、就職五人になります。高校受験は年明けからが本番ですが、高校卒業組では大学進学が一名、就職三名が決定しています。子どもたちの努力が実を結びました。この情勢なので就職難も予想されています。長く学園で生活してきた子どもたちなので、喜びもひとしおです。

前号でも触れさせていただきました。私たちがかわりにはコミュニケーションが唯一とっていい手段です。かわり合うことを旨として様々なことをすすめてきました。安全や体の健康を、「直接、顔を合わせてかわらないことを守る」方法を選択することの歯がゆさを、今も感

じながらの生活です。長期化すればすればするほど、心の健康も心配されるところです。一日も早く以前の生活を取り戻したいと感じていますが、現実にはそう甘くはなさそうです。

日本は人口減少少子高齢化時代にずいぶん前から突入しています。もはや少子高齢化よりも人口減少問題の方が深刻です。「福祉は人なり」という言葉があります。その「人（働き手）」のなり手が各段に減ってきています。サービスの質と量を担保していくには、人材（財）の確保が必須条件になります。人材を確保しそれを育成し、定着してもらおうための手立てをこれまで以上に図る必要が出てきました。

今年度、園全体でこの人材対策の課題に取り組むことにしました。ホームページを活用し、少しでも多くの人々に私たちのかわりやいとなみを知ってもらい興味をもってもらうことや、学園の取り組みについて将来就職を考えている学生等の方々によりよく知ってもらい、「こんな職場で働きたい」と思ってもらえるような紹介や実習を企画したりしました。成果は上がっ

てきています。

後の頁で武藤統括施設長がより東京都から「多摩児童相談所フォスターリング機関事業（里親養育推進包括支援事業）」を受託し、事業を開始しました。これは多摩児童相談所管内五市（調布市、府中市、稲城市、多摩市、狛江市）における里親家庭（養育家庭）や養子縁組家庭への支援を拡充するための取組です。同じ社会的養護・養育にかかわる里親さんとそこで生活している子どもたちが、何か困ったときに頼りになる存在として相談に乗ったり、里親養育をより広めたりしていくことを目的に活動していきます。これは学園にとっても新たなチャレンジになると思っています。

すべての子どもの最善の利益を目指して、学園はこれからも進んでいきます。

施設長 小倉要



フォスタリングに 期待するもの

二葉学園において今年十月からフォスタリング機関連事業（里親養育推進包括支援事業）をスタートさせました。現在、国全体としてこれまで施設中心の社会的養護から家庭養護いわゆる里親や養子縁組等の推進を図っているところで、これまで都道府県等の行政や児童相談所が中心となつて里親拡充と里親支援について行ってきましたが、これからはその拡充と支援を民間の社会福祉法人やNPOや企業等民間機関にて実施することとし、現在拡充策を図っているところとす。私もこれまで国や東京都の審議会においてこの制度の必要性については推進してきた一人です。

今年度になり、東京都として多摩児童相談所においてフォスタリング機関連事業を実施するとの広報がなされ、二葉はこれまで二葉乳児院において里親支援機関連事業やフォスタリング事業を実施していることや、多摩市や狛江市や府中市のショートステイ事業を受託している実績から、ぜひ今回の事業を実施したいと

申し出し、東京都の審査会を経て二葉学園に決まったという経過です。

開設までの準備期間も短く、年度途中にて新たに職員採用をするなど大変でしたが十月一日に正式にスタートをした次第です。

今後、フォスタリング事業は里親と施設がしっかりと協働連携を図り地域の社会的養育を必要とする子どもや家族のために重要な事業です。里親支援の充実のためにはこの事業への理解の広がりに関わるスタッフの専門性の向上が不可欠の課題です。また、スタートしたばかりの事業ですが、今後ともみなさまのご理解とご支援を心よりお願いいたします。

二葉学園統括施設長

武藤素明



多摩フォスタリング機関連職員紹介

初めまして。フォスタリング機関連の統括責任者の丸山と申します。

私は三月まで児相で働いていましたが、里親に関する業務の多くは行政ではなく民間が請け負う方が効率的、効果的であると考えてきた自分にとって、「これは縁がある」と思い受けさせていただきました。

我々の仕事は大まかに言うところ、里親等への委託業務、里親のリクルート及びアセスメント、里親登録前後及び委託後における里親に対する研修、子供と里親のマッチング、委託中及び委託解除後に至るまでの一貫した里親支援です。これらを包括して支援する機関としてフォスタリング機関連となります。

実は、里親を取り巻く事情は非常に分かりにくく、また手続きが煩雑です。まず里親を希望する方が児童相談所に相談しても、予約を取ることすら簡単ではありません。その後家庭訪問や登録前研修と続き、希望者の方は仕事を休まざるを得ない等の支障がでてきます。

そこで、個人情報保護の順守を踏まえた上での、手続きのデジタル化やSNS等の活用などへの取り組みも急務な課題です。

これは、課題のほんの一部の例ですが、メンバー一人ひとりの分業によるメリットを生かし、丁寧な仕事とスピード感をもって実践していきたいと思っています。

メンバーは、リクルーター二名、トレーナー一名、調整員一名、推進員二名、自立支援相談員一名、統括責任者一名の八名体制になります。

学園の三階の部屋を事務室として四名が勤務。また、多摩児童相談所でも、新規の相談や、緊急の一時保護委託へ対応等に四人勤務しております。また先日も里子さんと、実親さんとの交流のために学園に場所をお借りしました。研修や行事等で学園のホール等をお借りすることも増えると思います。

東京都で最初の委託事業です。ので、委託した意味がないと言われないようメンバー全員全力で取り組んでいきますのでよろしく願います。

統括責任者 丸山隆康



この度、里親委託等推進員として里親家庭にかかわらせていただくことになりました。中谷です。二葉学園で、長く児童指導員としてホームの担当、ファミリースーシャルワーカー、里親支援専門相談員を務めさせていただきました。この事業の実施が決まったことで、里親の方々に寄り近い距離で、具体的なかかり合いをしていけると期待しています。特に困りごとなどの声を受け止め、当たり前に地域で生活を送ることができるよう力を注ぎたいと思っています。よろしくお願いいたします。

推進員 中谷美子

はじめまして！十月より、多摩児童相談所フォスタリング機関におきまして里親委託等推進員をしております栗野裕加里と申します。前職は、世田谷の自立援助ホーム憩いの家で児童指導員を勤めた後、江東区の子ども家庭支援センターで子育てひろばのスタッフをしておりました。里親さんから気軽に相談していただけのような関係を築いていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

推進員 栗野裕加里

「あの：『長内』さんですか？」「いえ『小さい山の内側』と書くんです」という自己紹介が始まることが多い、私、「おさない」と申します。兵庫県で生まれ、愛知、千葉、神奈川、山形、茨城、東京と移り住み：多摩市民となつて早十五年。身長も人生も伸び盛りの折り返し地点でございます。それでも、二葉学園とのお縁をいただき、これから先も出会う人々と一緒にまだまだ伸びていきたい！と心新たに：どうぞよろしくお願い致します。

自立支援相談員 小山内美代

里親等委託調整員をさせていただきます。北野元太です。フォスタリング機関になり、マッチング支援等の新たな業務も担うことになりました。わくわくした気持ちと緊張とを感じながら、あつという間に年の瀬です。子どもたちがいつでもどこでも健やかに過ごせる多摩地域を目指して、たくさんの方の力を活かされるよう、フォスタリングを実施していきたいです。趣味は観劇とラジオ視聴です。よろしく願います。

調整員 北野元太

フォスタリング機関で里親トレーナーを務めます井原紗綾です。里親さんに必要な研修全般を担う研修担当です。二葉乳児院で現場の保育士として勤めていたため、フォスタリング機関のメンバーに助けられながら業務作業、電話対応と慣れない業務にあたふたとしている日々です。子どもたちとの直接の関わりはなくなつてしまいましたが、今の現場での活動が子どもたちの未来に続くよう頑張らせて頂きたいと思っています。

トレーナー 井原紗綾

ガンダム好きの穴戸です！職場のデスク周りをガンダム一色に染めることが野望です！：以前は児童養護施設に努めていました。子どもと関わる仕事ではなく寂しさを感じる一方、立場が変わることで、子どもを育てる環境の一部としてできる支援の“可能性”に気付きました。職員同士の会話や、地域との関わりを大切に、子どもを取り囲む“輪”の一員であることを意識しながら、皆さんと仲良くやっていけたらなあと思っています。

リクルーター 穴戸杏香奈



東京都里親制度PRキャラクター
さとぺんファミリー

アイリスホーム

ステイホームで溜まったストレスを全部流すために、秋川溪谷ヘデイキャンプにでかけました。場所によっては河原一面にテントが張られていましたが、何とか穴場を見つけ、すぐに着替えて川へ飛び込む子どもたち。きれいな水と清らかな流れに癒された後は、食べたいものだけを買そろえたBBQでお腹も満たされました。「帰りたくない」「ここに住んじゃおう」と駄々をこねるほど楽しめたようで、担当としてはうれしい限りでした。今度はおうち時間をより充実させられるよう、子どもたちと楽しみを見つけていきたいです。

児童指導員 山田 晃平

ひまわりホーム

ひまわりホームでは、今年の夏は密を避けて6人それぞれ買い物や映画鑑賞など、個別での外出と、久しぶりの外食のみにとどまりました。それでもホーム内での秋祭り縁日ごっこにハロウィンパーティ(特製ピニャータ割りも!)、誕生日会でのビンゴ大会やプラレールをアイデア活用したおうち回転ずしなど、普段ではやれないことを企画し、子ども達と楽しんでいます。コロナだから何もできないのではなく、コロナだから普段できないことに特別チャレンジできる、そんな大人の想いが子ども達にも伝わっているかな、と思っています。

児童指導員 油木 鉄兵

コスモスホーム

お家で焼肉、たこ焼き、ハンバーガーをたくさん買ってお腹いっぱい食べようパーティ、うどんを打ってみよう! オムライスづくりなど、意識的に食事の中に『より楽しい』を取り入れました。また、地域のお店のテイクアウトメニューも活用し、鰻丼や、焼肉弁当など、美味しくいただきました。お出掛けできずに溜まった、モヤモヤは、夏休み最後に出かけたよみうりランドで思いっきり発散してきました! 子どもも職員もオシャレをして出かけ、一番に先に向かったアトラクションはプリクラ。いや〜女子ですね〜(笑)。この夏、コスモス女子はダイエットダンスで沢山汗を流しましたよ!

保育士 高木 春花

夏休みの様子

屋久杉ホーム

何かホームとして、夏の思い出に一つでも多くやれたらと思い、ホームの庭でバーベキュー行いました。

昼から夜までその間子ども達は、ホームの中を出たり入ったりしながら、時には肉を焼きながら、冗談を言い合って笑ったり、奇妙なジュースを購入し、恐る恐る飲んでみては、顔をしかめ、それを見て笑って楽しみました。日々しんどいことも有りながらも、ほっこりとした一時を過ごせた夏休みでした。

ホーム長 相原 信一

すみれホーム

今年の夏は感染症の影響からどう過ごすか迷いながら、夏がスタートしました。この状況の中で何か出来ることはないかと考え、八王子の農家の方をお願いし農業体験を行ってきました。マクワウリやナス、ピーマンなど夏の野菜を収穫してその場で新鮮な野菜を食べさせていただくなど貴重な経験が出来ました。次の日は自分たちで採った食材でカレーやうどんなどを作りました。普段はあまり食べない野菜も自分たちで収穫・調理して食べ、素敵な夏の思い出が出来ました。

児童指導員 宮本 美希

アスターホーム

今年はコロナの影響で近所のお祭りも学園の行事も中止…。ホームでも楽しめる夏らしいことをしたいと考え、自分たちでお祭りを開催することに決めました! それぞれが自分のやりたい屋台を考え、お祭りに向けて準備をしました。当日は、チョコバナナ屋や射的屋などの屋台が並び、お客さんと店主を交互になりきり、忙しそうにしながらもお祭りを満喫。それぞれが作ったものをお互いに食べ、「おいしい〜!」が止まらない一日でした。今年ならではの過ごし方でしたが、「こういうお祭りもいいね! またやりたい!」と良い夏の思い出になったようです。

保育士 山上 ななえ

あじさいホーム

コロナウイルスの影響で本来の夏をなかなか味わうことが難しかった夏休みのとある日、あじさい皆で日帰りである野市へ向かいました。太陽の日差しが強い中、冷たく気持ちよい川の中にみんなでダイブ！一気に子どもたちの表情はキラキラに。その後は天然氷を使ったかき氷に、温泉。たった1日ではありましたが、1日とは思えないほどの充実した部屋レクとなりました。子どもたちからは「今度来るときは泊りがいいな…」という声。帰りの車内でコロナウイルスの終息を切実に願いながら、今日新たにできた思い出に浸りました。

保育士 廣瀬 彩香

菜の花ホーム

菜の花の子どもたちは自粛期間中も毎日1時間近くの公園へ遊びに行くことを唯一の楽しみしていました。そんな子どもたちと2020年の記念すべき思い出を…。

そんな思いで決めた部屋レクは、思いっきり体を動かすためのアスレチックと、今後ずっと残していける陶芸体験。マスクでは少しきつかったアスレチック。自由が好きな菜の花の子どもたちにとっては何を作るか決めての創作…。それでも、コロナで我慢してきた子どもたちが、少し遠出しておいしいものを食べて1日過ごせたことはいろいろな意味で思い出に残る夏になったと思っています。

ホーム長 池田 麻由

けやきホーム

ひとつひとつのことをどう充実させ皆で楽しむか、という考えが浸透しているけやきホームです。家事援助の方に協力してもらいロシアンルーレットおかず大会が開催される日があります。美味しさと衝撃とで、誰もが次回を期待せずにはいられません。初ユニフォームおめでとう記念会、新しい駄菓子屋見つけた会、連休いい感じで過ごせたね会などが開催されています。外での活動はできませんが、こんなことができる、あんなことがやりたいと想像しながらその日を楽しみにしているところです。

ホーム長 遠藤 敦子

さくらホーム

さくらホームは夏休みに高尾山とトリックアート美術館に行ってきました！

熱中症対策をしながら、互いに励まし合い、山頂を目指しました。年上の子が年下の子のペースに合わせてくれたり、思いやりがたくさん感じられる登山でした。山頂で食べたかき氷、頑張った後のお昼ご飯は格別！近くの温泉で汗を流し、トリックアート美術館へ。それぞれ表情やポーズを工夫しながら写真撮影を楽しみました。夜にはホームの庭で花火！なかなか思うようにはお出かけできない日々が続いていますが、思い出深い夏の日になりました。

児童指導員 小島 晶子

夏休みの思い出写真



アイリス



さくら



菜の花



屋久杉



あじさい



コスモス



けやき



ひまわり



アスター



すみれ

行事報告

今年は学園の恒例行事である「地域バーベキュー」が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となっていました。その代替としてバーベキュー担当が企画を進めたのが、園庭に紙コップや空き瓶で手作りしたキャンドルホルダーを飾り、ライトアップするという「ハロウィンイベント」です。

学園と地域でひとつのものを作り上げる機会とするため、地域の方にも作成協力をお願いし、持ち込んでくれた方にはお菓子をプレゼント。学園がお世話になっている業者さんで利用できる引換券などが当たる抽選くじも行い、お米を当てたお子さんが親御さんに褒められるという微笑ましい光景も見られました。本当はライトアップの様子を地域の方にも直接見ていただきたかったのですが、コロナ対策で後日動画配信という形をとりました。

10月24日の点灯日はキャンドルホルダーだけでなく、各ホームに作成してもらった“かぼちゃランタン”も並べて、とても綺麗にライトアップすることが出来ました。

初めて試みでしたが、地域の方にも、学園の子ども達にも喜んでもらえるイベントとなりました。学園を知っていただく、良いきっかけになったようにも思います。ご協力ありがとうございました。

栄養士 河合 寛子



強歩

今年は、新型コロナウイルス終息を祈願する意味も込め神社参拝の強歩となりました。15名が参加し、ウイルス対策等の細心の注意を払って30kmの道のりを歩きました。そして、大人数にならないよう、3つの班に分かれる等の工夫をしながら目的地へ向かいました。幸い心配していた雨も出発時に止み、体調不良者も居なく早朝から良い調子でスタートを切りました。それぞれ体力差や年齢差も考慮した班分けとなりましたが、自然と子ども達が遅れを取っている子どもを待ってあげたり、「ペースを落とそうか。」と気遣ってあげたりする場面が印象的です。ただ歩く、されど歩く、この強歩という行事にはこれまで数々の子ども達が参加してきています。これまでも今回も、上記のように、15名それぞれに感じたことがあったと思います。子どもも職員もここでの達成感を日々の活力に変換できているといいなと思います。

保育士 玉井 里奈

「みんなの力で、みんなで完歩」高3・男子

私は実のところ出発前は完歩できていなかったのです。

強歩を歩く前、ホームの子どもたちの事や進路による不安で哀訴していたためです。

実際には、足の感覚が麻痺したあたりで安定したペースで歩けるようになっていて自分でも驚きと非常に不思議に思いました。同じ班の女の子2人はかなり健脚で仲良く話しながらも変わらぬ足取りで歩いていました。途中から一緒に歩くこととなった子は、その姿をみて大変驚いたと聞いています。

こうして同じ班の子や途中までも歩けた子を見て思いました。ひたすら一生懸命取り組むことは簡単ではありません。上手くいくこともあれば失敗もあったかもしれませんが、でも私が思うのは諦めずに立ち向かう気持ちが大事だということです。

今回は強歩に来られなかった子もいましたが、機会があれば一緒に行けたらいいなと思っており、最後に子どもたちのやりきったという笑顔が見られて、一緒に歩くことが出来て良かったです。ここまでありがとうございました。



クリスマス会

12月19日に二葉学園ではクリスマス会を開催して盛り上がりました！

毎年お世話になっているボランティアさんをはじめ、地域の方々や、子どもたちを支援して下さる各所関係者の皆様をお招きし、子どもたちや私たち職員が日ごろの感謝を伝える会として開催している、総勢200人にも及ぶ一大イベントです。

しかし、今年は新型コロナウイルスの影響により、皆様に招待することを断念。また、学園内で集まることも万が一のこと考え、クリスマス会をリモートにて行うことにしました。本園と8つのグループホーム、東中野教会を繋ぎ、場所は違えど、皆様への感謝を心に、二葉学園の全員が同じ想いと時間を共有することができました。子どもたちによるハンドベルの賛美歌演奏、ビンゴ大会、園長サンタの来訪など、リモートでできることは何か、試行錯誤を繰り返しての開催となりました。

行事も軒並み中止になり、普段顔を合わせることがありませんでしたが、画面越しに子どもたちの笑う姿が見られたことが何よりもうれしく感じました。

来年はどのような情勢になっているかわかりませんが、私達は沢山の人に囲まれて、支えられている事を忘れず、これからもみなさまと手を取り合い、子どもたちの笑顔を大切に、未来に繋げていきたいと考えています。

児童指導員 山田 晃平



卒園生を送る会

コロナの影響を受けて早いもので1年以上がたちました。

昨年の卒園生を送る会もかなりの縮小規模でおこない全体で集まるということができない中で3名の卒園生を送り出しました。

今年度も同様に緊急事態宣言も出されている状況ではありましたが、9名の卒園生を全体で送り出したいという思いのなか、試行錯誤をし、感染予防の手立てを最大限行い、9名の卒園生と参加者の人数制限をおこないながら今までにはない形の卒業式形式での式典と、各ホームの会食をオンラインでつなぎながらそれぞれの思い出を語ってもらう会を企画しました。

式典では担当職員から子どもへのメッセージ、子どもから担当職員へのメッセージを相互に送りそれぞれの想いを聞けるいい機会になったのではないかと思います。

コロナの状況がなくなりいつものように二葉学園を巣立つ児童を全員で会食しながら送り出せる日が来ることを願っています。

自立支援コーディネーター 小林 治



二葉学園では、養護の目的を達成するためにご援助を頂いて、より子どもたちの成長をはかるための賛助会を構成して、養護の状況をご報告しながら仕事を進めております。

皆様のご協力とご紹介をお願いいたします。

年会費 一口 1000円

お申し込み先

東京都調布市上石原2-17-7

児童養護施設 二葉学園

TEL 042-482-2578

FAX 042-480-5200

郵便振替 00130-4-47665

毎年報告しています決
済報告に関しましては、
社会福祉法人 二葉
保育園のホームページ
をご覧ください。

<http://www.futaba-yuka.or.jp/>

賛助会員・御支援者

御芳名

(敬称略)

秋葉義孝 秋葉宏子 厚朴修 辻久恵 秋輪和幸 石森康雄 坂倉綾子 野地隆夫 新井美津子 岡本文子
 ばていすりー・ど・あん 仙川教会子どもの教会 日本鏡餅組合 子ども地球基金 (財)登戸学寮寮生一同
 志賀勝子 網代正孝 斉藤友子 多胡彬 大橋章人 大橋能里子 桐谷重毅 橋本知 福島穆 岡安泰英 岡安珠子
 高山直人 安納里恵 ちようふ子どもネット青少年ステーション 加幸男 大河原幸子 関沼幸通 (有)柴田商店 柴田明
 ヤング理髪店 永幡紀明 上石原二丁目自治会さくら会 松岡浩 松岡和子 徳井美千代 宮田康成
 調布駅前パソコン教室 多田京子 東京都荏弱共同組合 東映(株)テレビ 東中野教会 牧操子
 高橋清一 小松幾世 有賀芳子 大新電気工業(株)武藤修明 原田利裕 堀本縣治 メガガイア調布 田辺一男
 加藤美三 中山正雄 藤澤晴子 (株)ドリームホーム 増岡源吾 B・Rサーティーワンアイス(株) 牧野信也 成田和子
 千賀ひろみ 舟久保由紀子 食肉生活衛生同業組合 坂本悠紀子 公益財団法人毎日新聞東京社会事業団 阿部陽子
 折茂伸満 フードバンク調布 大河内義貴 渡邊幸一郎 萩生田敏二 (有)ダスカジャパンクアウテモック 齋藤隆夫
 染地地域福祉センター (株)神戸屋レストラン 作左部麻希 上野まり子 西光庵 清永道也 清永春美
 府中市主任児童委員会一同 (株)ブレナス (有)東京馬主協会 (有)布田屋 掛川亜季 調布市社会福祉協議会 園武友
 公益財団法人資生堂社会福祉事業財団 鈴木洋 藤田奈巳 那須史子 宮川千春 関根裕美 柳原園子 田中秋男
 長澤康浩 徳富善子 泉水洋祐 特定非営利活動法人日本チャリティ活動支援協会 ゴールドマン・サックス証券(株)
 (株)NUK建設設計事務所 一般社団法人東京文具工業連盟 調布市遊技場組合 大島紀子 吉澤貞雄 吉澤治代
 アンダーツリー東京キコナ府中店 フィリップモリスジャパン(株) セカンドハーベスト・ジャパン 池田守彦
 中嶋勝夫 松浦幸子 NPO法人ちようふこどもネット 宇山みえ子 コストコホールセールジャパン多摩境倉庫店
 (株)京王閣 東京調布ライオンズクラブ 渡辺チイ 清水裕子 株式会社ガイア 足立書子 武田康男
 角瀬敬子 島田圭子 小林明信 調布WAT 渡辺喜信 渡辺千重子 滝沢友紀 村岡弘 村岡えり子 村岡海斗
 府中子ども家庭支援センターたち 一般社団法人東京都信用組合協会 調布・狛江地区更生保護女性会
 やきとり大吉糸川 (株)オリエントコーポレーション ワールドメイト 小林肇 関口隆雄 百合女子大学
 公益財団法人毎日新聞東京社会事業団 中央共同募金会・アサヒ飲料(株) 日本再生(株)代表取締役鷺見健司 西村文子
 健全育成第三地区委員会有志一同 小倉勇 (株)日本M&Aセンター代表取締役社長三宅卓 柳俊一郎
 寺澤玲子 廣瀬剛 河内進一郎 榎本春久 フードフォーキッズプロジェクト 全国シャネルメリー協同組合 森本裕美
 塩野梨沙 株式会社日本出版社販売 松浦幸子 富士天然氷蔵元・不二 高田健吾 佐藤昭 調布市フードドライブ
 大塚商会(株) アメリカンスクールインジャパン NPO法人プラネットカナル (株)サントリーホールディングス
 大島秀治 ボランティアグループ・すいとびい 奥野宣子 中村敏枝 向當稔 向當君枝 KKアードブレイン
 高橋一弘 菊池邦夫 西村文子 狛江市狛江友Vビーチボールクラブ 青松佐枝 一般財団法人日本児童養護施設財団
 ドミノピザ調布小島町店 ジェイ・ワーク(株) 調布パルコフードドライブ 鈴木博人 荒井富子 高木久美 大木尚美
 匿名の方

※皆様からのご支援・ご援助、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和二年八月